

高齢者の口腔ケア

—誤嚥性肺炎・インフルエンザ予防に役立つ—

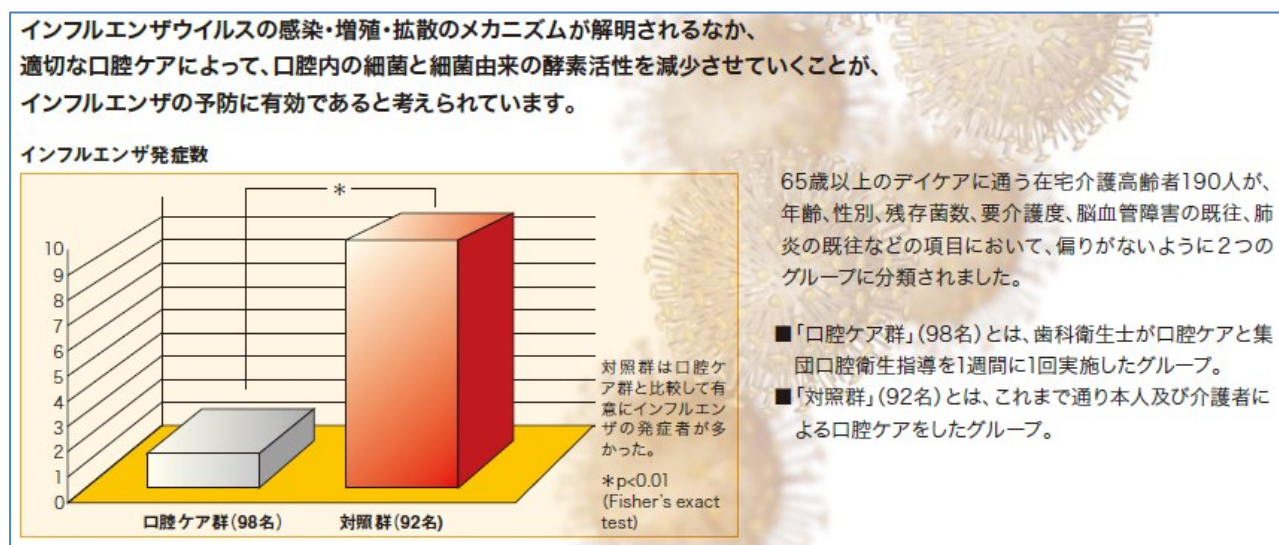
医療法人永寿会 陵北病院 歯科診療部

歯科衛生士 岩田 福代

高齢者に適切な口腔ケアを行う事は、単に歯科疾患や気道感染症(誤嚥性肺炎等)を予防するだけでなく、食べる機能を維持し、低栄養の防止や栄養改善等、QOLの維持向上につながる事も一般的に広く認識されてきました。昨年、日本人の死因順位が、1位 悪性新生物、2位 心疾患、3位 肺炎、4位 脳血管疾患となり、長年3位であった脳血管疾患と肺炎が逆転しました。(性別にみた死因順位別死亡数・死亡率(人口10万対) 厚生労働省2011年人口動態統計)。

これは高齢化社会の到来で、肺炎で亡くなる高齢者が急増した事によるものです。肺炎による死亡者の96%が、65歳以上の高齢者で、うち70%以上は、細菌を多量に含んだ唾液や飲食物が誤って気管に入る事により発症する「誤嚥性肺炎」によるものです。入院中や介護中に、徹底した口腔ケアが出来ない事により、口腔内の衛生状態が悪化し、口腔内細菌が増加することに起因します。しっかり口腔ケアを行う事は、最も身近で効果的な誤嚥性肺炎予防になります。

また、毎年流行する、インフルエンザの予防において、口腔ケアが大変重要である事もわかってきました。



私共の職場でも、日々、口腔ケアに取り組んでおります。本セミナーでは、実際にどのような物品を、どの様に使用して口腔ケアを行えば良いのか、実技を通して、皆様にご紹介させて頂きたいと思っております。

歯科診療部

陵北病院歯科診療部では入院患者様を中心に歯科検診を行い、歯科診療及び歯科衛生士による口腔ケアを行っております。



メッセージ

高齢者の口腔ケアを行うことは単純に咀嚼・嚥下だけの問題ではなく肺炎などの全身的内科疾患とも大きく関わっています。

現在残っている歯を長持ちさせるためにも重要で専門的な処置です。
「噛む」ことの回復は「食欲の回復」栄養摂取による「体力の向上」にも繋がります。